



《将来に向けた取組方針》

■三菱重工グループ生物多様性宣言

三菱重工グループは、当社グループの事業活動が生物多様性や自然資本から生み出されるさまざまな恩恵に依存していることや、それらに影響を及ぼす可能性があることを自覚した上で、2050年までに自然共生社会を実現することを目指し、生物多様性や自然資本の保全・回復に向けた取組みを推進していきます。

取組項目

1. 当社グループの事業活動が生物多様性や自然資本にどのように依存しているか、また、どのような影響を与えているかを把握します
2. 製品の研究開発、設計、原材料の調達、製造、輸送、使用、サービス、廃棄に至る事業活動の全ての領域で、生物多様性や自然資本への負の影響の低減に努めます
3. 生物多様性の損失と気候変動が相互に密接に関連することを認識し、生物多様性の損失を気候変動と同様に経営の最重要課題の一つとして位置づけます
4. 生物多様性や自然資本の保全に資する社会貢献活動に取り組み、地域の創生や自然の回復を促します
5. 生物多様性や自然資本への取組みをより効果的なものにするために、様々なステークホルダーと連携・協働し、知見を共有します
6. 環境教育を通じて、全グループ員の生物多様性や自然資本に対する意識の向上を図ります

《具体的取組み事例》

■ステークホルダーとの連携・協働の例

- ・絶滅が危惧されるアカウミガメの保全調査を支援
連携先：認定NPO法人アースウォッチ・ジャパン
- ・森林の保全活動を推進
連携先：神奈川県(かながわ水源の森林づくり事業)
三重県(企業の森)



産卵に来たアカウミガメ



傾斜地での植林作業